

平成 27 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	高難度物質変換反応の開発を指向した精密制御反応場の創出
領域代表者	真島 和志 (大阪大学・基礎工学研究科・教授)
研究期間	平成 27 年度～平成 31 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、これまで成し得なかった高難度の物質変換を高効率的に実現させるために、触媒活性中心のみならず、反応に密接に関わる周辺領域も含めた精巧な反応場に着眼し、精密制御反応場を設計・開発していく意欲的な試みである。新学術領域研究「直截的物質変換をめざした分子活性化法の開発」（平成 22～26 年度）の成果の上に立脚しつつ、更に広範囲の有機反応を対象とし、周辺領域も含めた反応場の考察に重点を置く新しい学術領域の開拓を目指しており、有機合成化学に新たな触媒設計や触媒反応を提案することが期待される。反応活性点の近傍も含めた反応場を精密制御するという新学術領域が広がれば、その応用範囲は広く、多くの関連する他分野にも大きな波及効果が期待される。</p> <p>研究組織は 4 つの研究項目で構成され、それらに属する各研究計画間の密接な交流と共同研究推進を図る機能的な総括班が組織されている。企業研究者の研究支援による実用的な物質変換反応の確立など具体的な目標設定がなされており、領域全体の効率的な推進が期待できる。また、領域代表者の広い視野に立った力強いマネジメントも期待できる。</p>